

茨木市市民活動センター  
アクティブプラザ

# きずな

第6号

発行 / 茨木市市民活動センター  
大阪府茨木市駅前四丁目  
7番50号 市民会館2階  
☎ 072-623-8820  
🌐 <http://www.ibaraki-npo.jp/>

## 目次

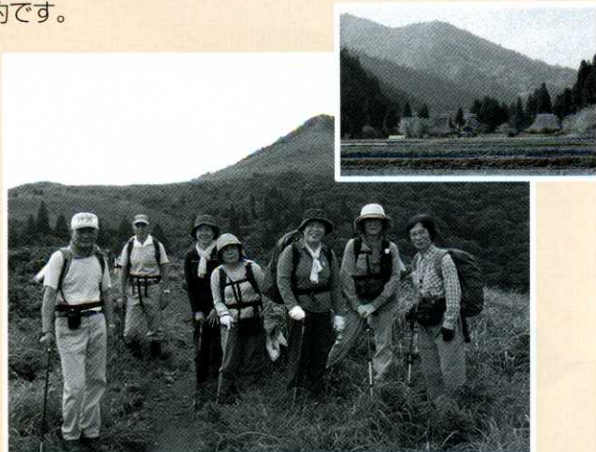
登録団体の活動紹介 .....	1ページ	NPO よろず相談室 .....	3ページ
センターの行事報告とお知らせ .....	2~3ページ	活動を支える言葉 .....	4ページ
近隣センターご紹介!(すいた市民活動を活発にする会「活発ひろば」).....	3ページ	センター利用案内・お知らせなど .....	4ページ

## 登録団体の活動紹介

### NPO法人 アルピ・山と里

山岳の自然を楽しみながら、里の集落との交流をすすめる会です。毎月1~2回の「山と里ハイク」を中心に四季折々の山歩きと里との交流に取り組んでいます。会員は高槻・茨木・吹田の熟年層を中心に30名です。里との交流は、現在は滋賀県高島市の椋川の里での茅葺屋根の古民家保存に協力し、田植えやマップづくり、祭り参加などを行っています。滋賀県の針畑郷や京都府のおよぎの里などとの交流の実績もあります。

月2回程度、山を歩いています。登山は京都府、滋賀県、奈良県の日帰り登山が多く、山のすばらしさに触れ、その山を守っている里との交流を深めていくのが目的ですが、まだまだ理想的なカタチにはなっていません。限界集落や高齢化などの問題を抱えた農村と都市を結ぶ、いわゆる都市農村交流が目的です。



- 入会は常時受け付けています。入会金1000円、年会費3000円です。
- 登山の初心者の方でもOKです。登山も他のスポーツと同様、慣れることが大事で、何回か経験するうちに、登山の初歩が身についてきます。健康管理には十分注意しましょう。
- 登山の装備は雨具、登山靴、水筒、磁石、ヘッドランプ、季節に合った服装などですが、ご相談ください。

**【連絡先】** 尾家 建生  
Tel / Fax 072-634-2966  
携 帯 090-6671-1695  
E-mail alpi\_oie@yahoo.co.jp

### 茨木市実用日本語学習会

在住する外国人の皆さんに日本語を教えているのが「実用日本語学習会」です。10年前に日本語ボランティア団体として結成されました。現在、登録しているボランティアは100人、学習者は約70人です。日本語の支援を中心にしながら、交流のための多彩なイベントを開催しています。

多文化共生、異文化理解の言葉が踊る中、現実的には異質なものを受け容れない私たちの社会で、在住外国人を社会から孤立させず、日本語習得が彼らを守る防具になることを目標に掲げ活動しております。

日本語を教えることは日本語と日本を再発見できる機会であり、学習者との繋がりを通してボランティアの存在と必要性を体験できる場所でもあります。

私達だからこそできるサポートを目指して活動の場を広げていきたいと思っております。

日本語を教えるのに資格・条件は要りません。支えてあげたいという暖かい気持ちをもって参加して下さる方を希望しております。



**【連絡先】** 実用日本語学習会  
代表 広原知津子  
TEL 090-3868-1346

## 会計・税務セミナー

1/17(土) センター交流サロンに、大阪谷町青山会計事務所の青山浩司税理士を迎えて、会計・税務セミナーが開かれました。ボランティアグループの小さな会計からNPO法人の節税対策まで幅広くお話しいただき、参加者からの質問にも的確にアドバイスいただきました。団体・グループの決算期に際して、会計・税務の知識を深め、個別の疑問を解消できたようです。

## 活動分野別交流会(保健・医療・福祉)

2/7(土) センター交流サロンにて、「保健・医療・福祉」分野の登録団体交流会が行われました。車いすの方も参加され、会場は満員で、市障害福祉課からの「障害者の現状と今後について」の話、NPO法人いばらき自立支援センター「ぼぼんがぼん」の現状報告の後、活発に意見交換が行われました。団体間の交流も深まり、ネットワークも広がったようです。



参加され、会場は満員で、市障害福祉課からの「障害者の現状と今後について」の話、NPO法人いばらき自立支援センター「ぼぼんがぼん」の現状報告の後、活発に意見交換が行われました。団体間の交流も深まり、ネットワークも広がったようです。

## 高齢社会に求められる市民活動

2/27(土) センター交流サロンにて講座事業と相談事業の一環として、講演会と相談会が行われました。市高齢福祉課からの「高齢社会茨木市の現状と将来」についての話のあと、看護学博士澤井敏江氏が「認知症の理解～認知症の理解と介護のこころ、市民活動と認知症予防～」をテーマに講演され、参加者は熱心に聞き入っていました。相談コーナーではセンター専門相談員の百瀬真友美氏が丁寧に参加者からの相談に応え、参加者からは感謝の言葉が寄せられました。



## シンポジウム

### 「企業における社会貢献(CSR)の実際を知る」

3月7日(土) 福祉文化会館において、「市民活動との連携を探る」をテーマに表記のシンポジウムが開催しました。元大阪ガス市民推進室の松井氏のコーディネートで、近畿労働金庫地域推進センター・日東電工株式会社CSR部・茨木済生会病院・株式会社マイカル茨木サティ企業の4社の活動が発表されました。参加者は一般市民のほか行政、市議員、学生、そして市内企業の方など多彩で、活発な質問や意見が出され、予定の3時間をこえる熱気溢れる会場となりました。また会場には市内十数社の協力を得て、各社の社会貢献資料を用意したところ、ほぼ全員が持ち帰られ、終了後の感想では「地元の企業で親しみやすかった」「勉強になった」「第2回を開催して欲しい」等の意見も多く、このテーマへの市民の関心の高さが伺われました。



## ラウンドテーブル

1月24日(土) 市民活動もまず健康づくりからとメタボリックシンドロームなど健康づくりの話題を話合いの入り口のテーマとして情報交換しました。

今回は3月28日(土) 午後3時～5時、「茨木市のまちづくりについて」の情報交換をします。参加メンバーから15分ほど「市民参加で見た茨木市都市計画審議会」をテーマに話題提供をして頂いたあと、自由に話し合しましょう。みなさまのご参加をお待ちしています!



